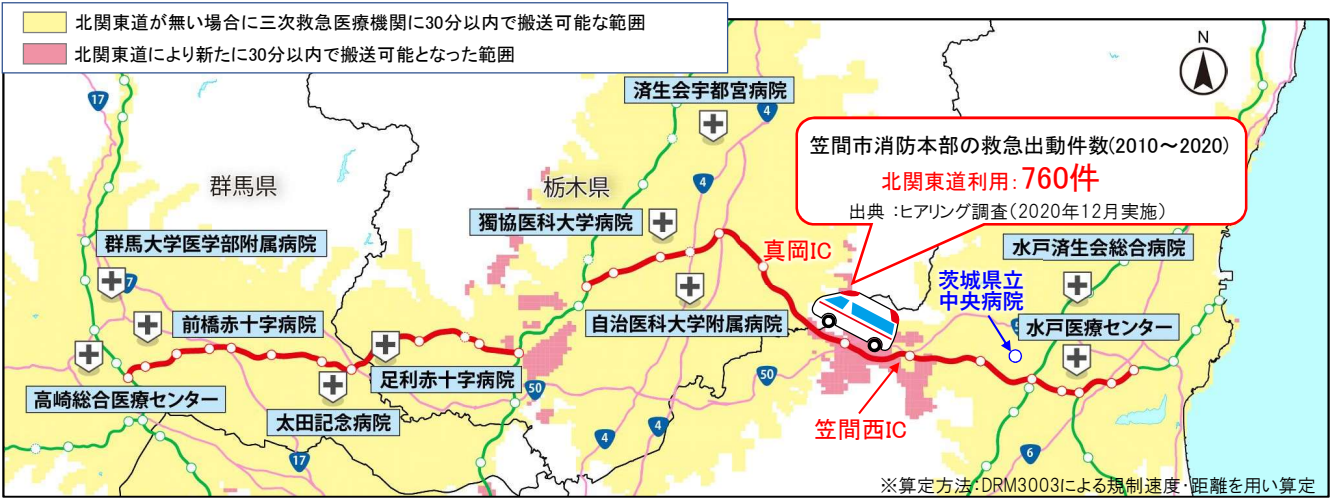


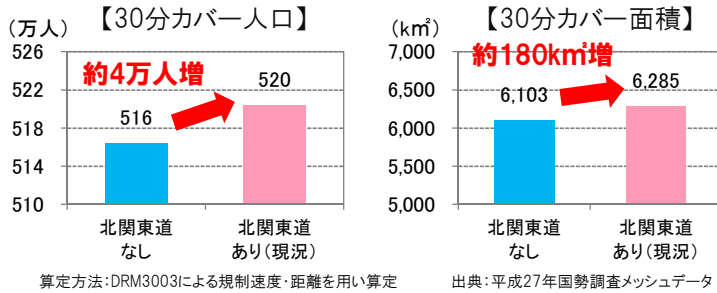
救急医療活動を支援

北関東道の開通により、救急搬送時間が短縮し、**第三次救急医療機関までのカバー圏域が拡大**
30分以内での搬送可能人口が、新たに約4万人増加

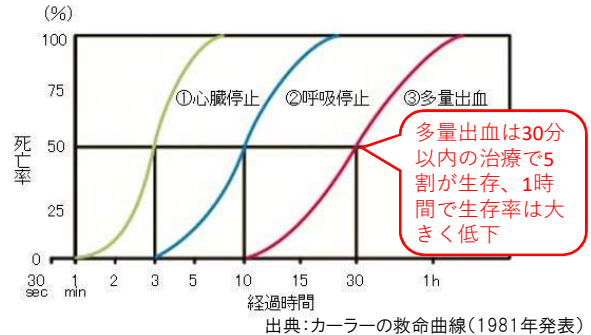
北関東道によって第三次救急医療機関までのカバー圏域が拡大



第三次救急医療機関30分カバー人口・面積の変化



〈参考〉緊急事態における経過時間と死亡率の関係



北関東道を利用したドクターカー運用

茨城県立中央病院と笠間市では、2014年2月に「茨城県立中央病院・笠間市 ドクターカー運用に関する協定」を締結。笠間西ICにおいて、ドクターカーと救急車が連携し、医師・看護師による傷病者の早期治療、救命が可能に。



笠間市消防本部の声

私たちの管轄する地域は、茨城県と栃木県の県境にあり、搬送先の病院が医療圏外の栃木県にも搬送します。茨城県笠間市から栃木県の自治医科大学附属病院へ搬送する事例があり、その際に、北関東道笠間西IC～真岡ICを利用することで、早期に搬送できました。また、ドクターカーと笠間西ICで待ち合わせし、医師の措置を早期に行うことで患者様の負担軽減につながっています。このような活動は北関東道開通によるもので、筑西地域の医療レベル向上へとつながりました。

出典: ヒアリング調査(2020年12月実施)

